

平成27年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

日時：平成27年7月1日（水） 15：30～16：30

場所：会議室

出席者：評価委員7名

学校関係者16名

進行：副校長

1 開会のことば（副校長）

2 校長挨拶

3 委嘱状交付

4 自己紹介

5 学校概況報告

(1) 学校概況について（副校長）

[資料のとおり]

(2) 学習指導に関すること（教務課）

[資料のとおり]

(3) 生徒指導に関すること（生徒指導課）

特別指導は今年度はなし。運動会やスポーツ祭などの行事は生徒会が中心となっていて行っている。運動部・文化部ともに活躍している。

(4) 進路指導に関すること（進路指導課）

[資料のとおり]

(5) 健康安全指導に関すること（厚生課、教育相談課、総務課）

昨年度は同時期にインフルエンザが流行していたが、今年度は落ち着いている。清掃は例年に比べてしっかり行えている。これからも指導を続けたい。スクールカウンセラーの利用は6月までで8名、そのうち半数が保護者である。例年この時期は1年生の悩みが多いが、今年度は少ない。教育相談情報交換会においては今年度からスクールカウンセラーも参加している。

(6) S G Hに関すること（S G H推進課）

[資料のとおり]

(7) 各学年の概況

○ 1 学年（1 学年主任）

パワフルな人間になってほしい。学年の目標は国や県を背負って立てる人間に育てること、そのための人格形成に注力している。勉強だけでなく+αにどれだけ逃げずに取り組めるかをメインに。新入生初期指導は例年行われているが、今年度はそれをまとめて冊子にして配布した（初心を忘れないため）。コース選択の際、特に理由もなく理系や医学系を選択する生徒が少なくなかったため、今年度は業者のテストを受けさせるなどして指導していく予定。

○ 2 学年（2 学年主任）

徐々に個性が見えてきた。大方順調である。今年度は①基本的な生活習慣の形成、②成績上位層をより厚くする、③主体的に学ぶ姿勢の確立という3つの目標を軸に進めていきたい。SG課題研究に取り組む中で今までにない視点から物事を捉えられるようになってきた。大学の卒論のようでもあり、生徒は積極的・主体的に取り組んでいる。スマホの利用についてのアンケートを実施した結果、56%の生徒がなんらかの悩みを抱えている。

○ 3 学年（3 学年主任）

生徒の第一志望を叶えるための指導を行っている。

6 質疑応答

○ A 委員

(1) 進学実績に凸凹がある。原因を分析し、進路に応じた年度ごとの取り組みはしているのか。

(進路指導主事) 例年、生徒の様子を見ながら指導をしている。3ヶ月ごとを1つの目途として進路指導等を行っている。

(2) 中学校との情報交換はしているのか。

(進路指導主事) 中学校における生活の様子等は聞く機会がある。しかし学習面においてはなかなかその機会を設けるのは難しい。

(1 学年主任) 業者による学力調査の結果、例年に比べて国語力が大きく落ち込んでおり、このことは中学校には伝えた。

○ B 委員

(1) 以前、保護者から応援歌練習や帽子をわざとボロボロにすることについて苦言があった。最近はそういう意見は増えてきているのか。

(校長) そのようなご指摘は特に聞いていない。

(2) 生徒はどれくらい休むのか。

(校長) 応援歌練習期間に1日に69人休んだというのが最多である。

(1 学年主任) 69人休んだ日は、3年生が最も多く休んでおり、次いで2年生であった。1年生は10数名程度である。応援歌練習後、1年の生徒のほとんどからはやってよかったという意見が出た。それは応援歌練習の最終日に指導有志から1年一人ひとりに対して激励の言葉をかけられたことが大きな要因だったと考えられる。

○ C委員

先生方は指導をしっかりしていると感じている。1年の生徒が自分のところを訪れたとき、非常にいい表情をしていた。昨年度から中高の校長間で研修会・情報交換会を催しており、非常に大事なことであると再認識した。SGH課題研究3は現在行われているのか。

(SGH推進課主任)今年度は行っていない。来年度から実施する予定である。

7 各委員からのコメント

○ A委員

一高生に限らず高校生が軟弱である。たくましい生徒を育ててほしい。

○ B委員

温かく、熱意のある指導を感じている。引き続きよろしく願いしたい。

○ C委員

学校の経営計画はかなり盛りだくさんだが、先生方は大丈夫なのか。選挙権が18歳以上からに改定されたのでそのあたりの教育もしてほしい。

○ D委員

目標達成のためには学校・家庭・関係機関の連携が不可欠。目標や情報の共有が必要であるため、もっと情報の公開に力を入れてほしい。卒業生に立派な人材も多いので、SG課題研究の際には活用してはどうか。

○ E委員

不登校生徒がいるというのは衝撃的である。またその理由が勉強についていけないというのも衝撃的である。一人ひとりを大切にしたいと言うのなら、「授業内容がわかる」という授業評価アンケートの目標値を90%ではなく100%にするべきではないかと思う。

○ F委員

今年度は勉強させていただきたい。

8 閉会のことば (副校長)